

日本友愛協会

植林事業10年経過

訪中視察報告書

- * 第一次訪中 柳州(第1期)
- * 第三次訪中 武穴(第1期)
- * 第五次訪中 鹿寨県(第1期)
- * 第七次訪中 鹿寨県(第2期)
- * 第八次訪中 武穴(第3期)
- * 第九次訪中 鹿寨県(第3期)
- * 第十次訪中 柳州(第4期)

視察訪問箇所・移動



視察訪問箇所



日本友愛協会 植林実施記録

◎今回視察訪問箇所

訪中次	年度	植林活動実施日		実施場所	工期	
第1次	12年度	13年(2001)	1月15日(月) ~ 1月20日(土)	広西チワン族自治区／柳州	第1期	◎
第2次	13年度	14年(2002)	1月25日(金) ~ 1月30日(水)	広西チワン族自治区／柳州	第2期	
第3次	14年度	15年(2003)	1月19日(日) ~ 1月23日(金)	湖北省黄崗市／武穴	第1期	◎
第4次	15年度	15年(2003)	9月21日(日) ~ 9月25日(木)	広西チワン族自治区／柳州	第3期	
第5次	15年度	16年(2004)	2月10日(火) ~ 2月15日(日)	広西チワン族自治区／鹿寨県	第1期	◎
第6次	16年度	16年(2004)	6月15日(火) ~ 6月20日(日)	湖北省黄崗市／武穴	第2期	
第7次	16年度	17年(2005)	1月21日(水) ~ 1月23日(金)	広西チワン族自治区／鹿寨県	第2期	◎
第8次	16年度	17年(2005)	3月 2日(火) ~ 3月 6日(日)	湖北省黄崗市／武穴	第3期	◎
第9次	17年度	18年(2006)	2月14日(火) ~ 2月21日(火)	湖北省シキ県／三峡ダム	第1期	
				広西チワン族自治区／鹿寨県	第3期	◎
第10次	18年度	19年(2007)	2月 2日(金) ~ 2月 9日(金)	広西チワン族自治区／柳州	第4期	◎
				湖北省シキ県／三峡ダム	第2期	
第11次	19年度	19年(2007)	12月13日(木) ~ 12月17日(月)	福建省アモイ市／翔安区	第1期	
第12次	19年度	20年(2008)	2月26日(火) ~ 2月29日(金)	湖北省シキ県／三峡ダム	第3期	
第13次	20年度	20年(2008)	12月12日(木) ~ 12月15日(月)	湖北省シキ県／三峡ダム	第4期	
第14次	20年度	21年(2009)	3月12日(火) ~ 3月15日(日)	福建省アモイ市／翔安区	第2期	
第15次	21年度	21年(2009)	12月23日(水) ~ 12月26日(土)	湖北省シキ県／三峡ダム	第5期	
第16次	21年度	22年(2010)	3月 3日(水) ~ 3月5日(金)	福建省アモイ市／翔安区	第3期	
第17次	22年度	22年(2010)	12月12日(日) ~ 12月15日(水)	湖北省シキ県／三峡ダム	第6期	
第18次	22年度	23年(2011)	3月 2日(水) ~ 3月5日(土)	福建省アモイ市／同安区	第1期	

第三次訪中 湖北省黄崗市武穴

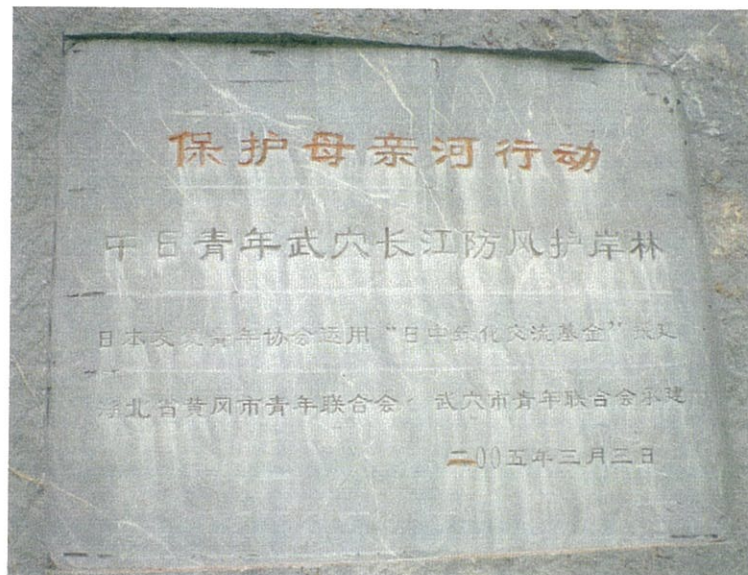
第1期



護岸のため植えたポプラは、見事な林をなしていた
川岸近くは、先の洪水で流失、補植を実施

第八次訪中 湖北省黄崗市武穴

第3期



凍てついた土に植えた竹は見事に根付いていた
雑木・下草も茂り、立派な生態系を形成している
同一箇所の写真(左上)は、貴重な証

鹿寨小学校訪問①



赤い看板で友愛協会
歓迎を表明



植林の現場で活
躍する森林消防
車。現場に同行し
てくれた



暑い中、小学生が揃って歓迎



3mもある大きな絵をみんなで作成 6

鹿寨小学校「友愛図書室」訪問②



植林活動を機に環境保全教育も活発



鹿寨小学校へ30万円を寄贈



寄贈のパソコン也大いに活用されている

第九次訪中 広西チワン族自治区・ 鹿寨県 第3期



大きく育った按樹(ユーカリの一種・炭酸同化作用が高く、常緑であるところから、植林の樹木に取り入れられている)皮は、薬用にも用いられる



2006年2月19日と刻まれた記念碑



実生の植物も増え、生態系が出来上がってる

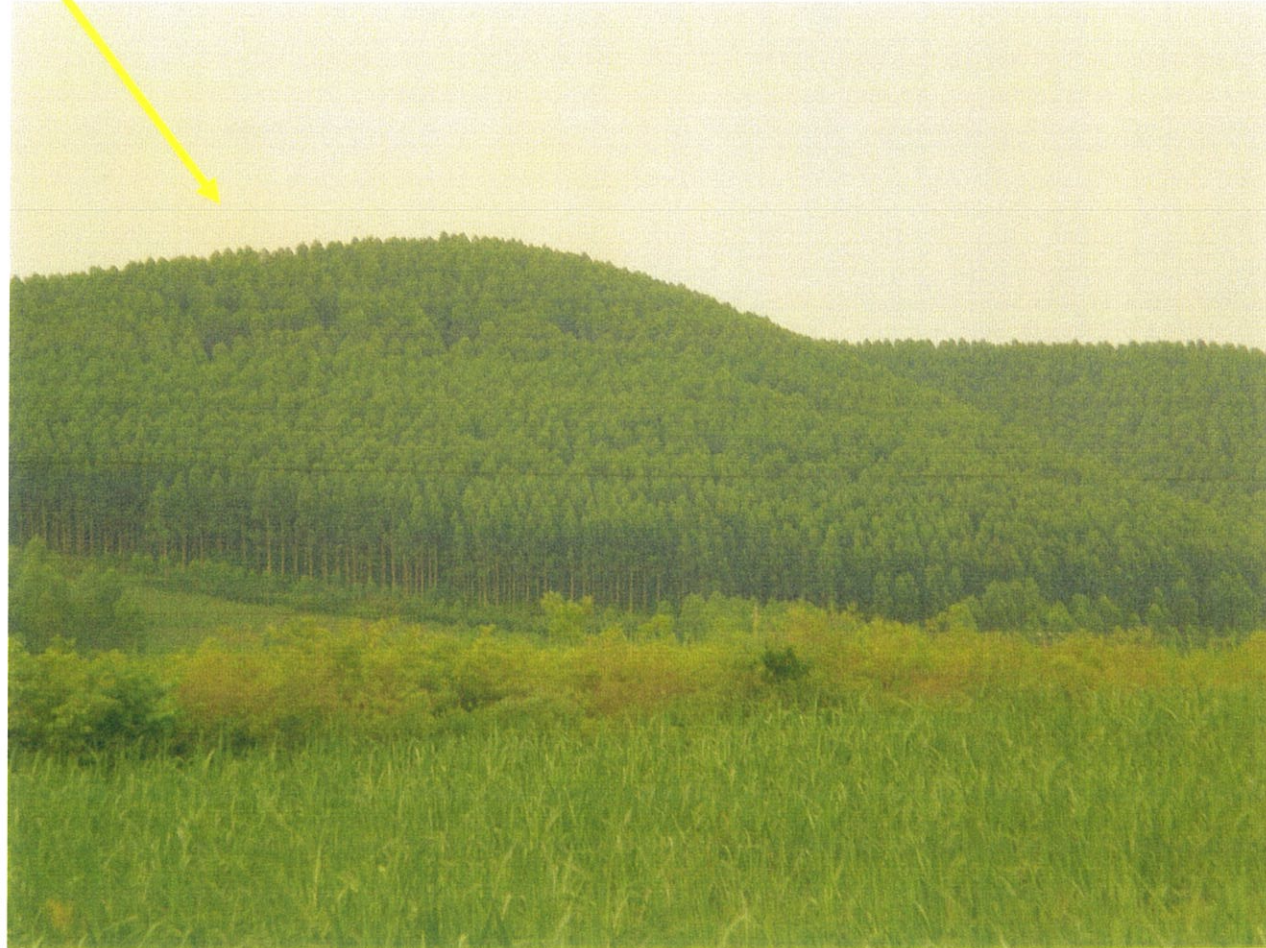
第五次訪中 広西チワン族自治区・ 鹿寨県 第1期・第2期



「植えた時はこの程度の大きさだった」と
世話をしている王さんは得意げに語った



第一次訪中 広西チワン族自治区・ 柳州



山の斜面に「中日友好」と樹木で文字を描いて植えた。10
今では、「中」の字と「日」の文字がかろうじて判読でき
る程度。周りの樹木が大きく育った証である

第十次訪中 広西チワン族自治区・ 柳州 第4期



苔むした記念碑が、六年の歳月を物語っている



この現場でも実生の植物が多くみられた

番外編...友好の証



鹿寨小学校の子供たち
からのプレゼント。ペッ
トボトル利用の貯金箱



「中日友好道路（友愛道
路）」と名付けられた植
林現場に沿った街道



一千五〇〇万人の長と
なった李さん。最後の
最後まで、手を握っては
なさなかった。



太く育った木を抱きし
め、木の声を聴く。感無
量！